

沿革

昭和45.	4.	1	京都市立御室小学校特殊学級として、国立療養所宇多野病院内に筋ジストロフィー症児学級を開設する。
	9.	1	病棟建築完成する。
	12.	8	開設、開級式を行う。
昭和46.	3.	15	京都市立陶化中学校籍生徒1名の卒業式を行う。
	3.	23	小学校第1回卒業式を行う。
昭和46.	4.	1	京都市立双ヶ丘中学校特殊学級として筋ジストロフィー症児学級を設置する。
	4.	8	小学校入学式ならびに中学校開級式を行う。
昭和47.	3.	15	中学校第1回卒業式を行う。
昭和47.	4.	25	中学部卒業生全員、朱雀高校通信制に入学。本学級への出張スクーリング始まる。
昭和48.	4.	10	無線免許国家試験、本学級へ出張試験が行われる。
昭和49.	5.	23	北校舎敷地造成を始める。
昭和50.	3.	29	北校舎竣工式を行う。(6教室、便所、ボイラー室等)
昭和50.	4.	1	京都市立呉竹養護学校鳴滝分校となる。
	4.	8	開校式を行う。
昭和51.	3.	15	中学部 第1回卒業式を行う。
	3.	23	小学部 第1回卒業式を行う。
昭和51.	4.	1	昭和51・52年度京都市教育委員会より特殊教育研究指定を受ける。
昭和52.	4.	1	京都市立鳴滝養護として独立し、あわせて高等部を設置する。
	4.	7	開校式を行う。
	12.	7	京都市教育委員会指定第2年次研究報告会を行う。
昭和53.	3.	1	高等部 第1回卒業式を行う。
	3.	15	中学部 第1回卒業式を行う。
	3.	23	小学部 第1回卒業式を行う。
昭和54.	4.	23	増築校舎敷地造成を始める。
	5.	23	校舎起工式を行う。
昭和55.	5.	31	市合同竣工式を行う。(本館竣工)
昭和56.	4.	1	昭和56・57年度文部省指定心身障害児理解推進校(双ヶ丘中学校)の協力校となる。
昭和57.	9.	17	全病連第16回全国筋ジストロフィー症児教育研究大会を行う。
昭和58.	2.	14	屋内運動場造成を始める。
昭和58.	4.	1	昭和58・59・60年度文部省特殊教育実験学校研究指定を受ける。
	9.	17	体育館建築完成する。
昭和59.	6.	2	市合同竣工式をする。(体育館竣工)
昭和61.	2.	7	昭和58・59・60年度文部科学省指定特殊教育実験学校第3次研究報告会を行う。
昭和61.	5.	1	10周年創立記念行事を行う。
昭和63.	4.	1	筋ジストロフィー症児の教育に加えて、てんかん児(小・中学部)の教育を行う。
	10.	29	第24回身体障害者スポーツ大会「愛とふれあいの京都大会」開会式の「ふれあい演技」出演と公開競技「卓球バレー」に出場する。
	11.	25	京都市学校保健会より京都市学校保健賞受賞
平成元.	6.	4	京都府より第6回京都府歯科保健文化賞受賞。
平成 2.	11.	7	京都市教育委員会より京都市教育功労者賞(団体の部)部受賞
平成 3.	3.	1	文集「まつぼっくり」20号記念発行。
平成 5.	4.	1	平成5・6年度文部省指定心身障害児理解推進校(双ヶ丘中学校)の協力校となる。

平成 7. 3. 10	平成 6 年度フロンティアスクール推進事業指定研究発表会を行う。
平成 8. 4. 22	京都市立鳴滝養護学校保護者の会発足。
7. 25～26	第 3 2 回近畿・東海・北陸地区病弱教育連盟研究発表大会を主管。
平成 9. 5. 6	創立 2 0 周年記念誌発行。
平成10. 4. 1	平成10・11年度京都市教育委員会より「教育課程」研究指定を受ける。
平成12. 2. 18	平成10・11年度京都市教育委員会指定「教育課程」研究第 2 次研究報告会を行う。
平成12. 4. 1	高等部において、てんかん児の教育を行う。
11. 2	京都市教育委員会より京都市教育功労者賞（団体の部）部受賞。
平成14. 6. 21	京都市立鳴滝養護学校養護育成教育相談センター開設。
平成15. 12. 25	グラウンド（整備面積1,545㎡）完成する。
平成16. 3. 29	職業専門教科実習室完成する。
平成16. 4. 1	校名を京都市立鳴滝総合養護学校に変更する。
	高等部に生活産業科を設置する。（1学年 定員16名）
	平成16・17年度文部科学省教育研究開発学校の指定を受ける。
平成17. 4. 29	京都市立鳴滝総合養護学校 P T A 発足。
12. 1～2	文部科学省教育研究開発学校最終報告会を行う。
平成19. 4. 1	校名を京都市立鳴滝総合支援学校に変更する。
7. 23	K E S 学校版「環境にやさしい学校」に認定される。
8. 4	日本行動分析学会より実践賞受賞
8. 31	グラウンド全面芝生化完成する。
9. 22	創立30周年記念式典を行う。
11. 10	文部科学大臣より、キャリア教育優良教育委員会・学校等表彰を受ける。
平成21. 4. 1	高等部生活産業科定数増（1 年生 定員20名）。
11. 5	京都市教育委員会より京都市教育功労者賞（団体の部）受賞。
平成22. 5. 3	本館 2 階トイレ改修。屋上防水完成。
平成23. 4. 1	高等部生活産業科定数増（1 年生 定員24名）。
平成23. 11. 14	学校運営協議会を設置する。
平成24. 3. 10	体育館、本館屋根改修完成する。
平成24. 4. 1	壬生サテライトでの学習を本格実施する。
平成25. 4. 1	京都市立病院に分教室「わかば」を設置する（開設式を4/12に挙行）
平成26. 2. 10	研究発表会「社会と関わり豊かに生活するためのキャリア教育の推進～ I C F の視点をういたキャリア教育の実践～」を行う。
平成26. 4. 1	文部科学省「キャリア教育・就労支援推進事業」の委託を受ける（本校、白河総合、白河東山分校の 3 校）。
平成27. 2. 10	研究発表会「社会と関わり豊かに生活するためのキャリア教育の推進～ I C F の視点をういたキャリア教育の実践～」を行う。
平成27. 4. 1	文部科学省「キャリア教育・就労支援推進事業」の委託（二年次）を受ける（本校、白河総合、白河東山分校の 3 校）。
平成27. 8. 4～5	第 5 6 回全国病弱虚弱教育研究連盟 研究協議会並びに総会（京都大会） 第 5 1 回近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育研究連盟 研究協議会並びに総会（京都大会）に協力校として参加する。
平成28. 2. 5～6	京都市立総合支援学校職業学科 3 校合同研究発表会を行う（全体テーマ「就労に向けた基盤となる自己肯定感を育むための地域協働・共生型活動の開発」） 2. 5 本校にて実施（終日） 本校テーマ「児童生徒の自己肯定感を高めるキャリア教育の推進」 2. 6 京都女子大学（C棟501教室）にて実施（半日）
平成28. 4. 1	文部科学省「キャリア教育・就労支援推進事業」の委託（三年次）を受ける（本校、白河総合、東山総合の 3 校）